

東村山市第5次総合計画～わたしたちのSDGs～基本構想（案）に関する意見募集の結果

1. 案件名	東村山市第5次総合計画～わたしたちのSDGs～基本構想（案）に関する意見募集の結果	
2. 担当所管	東村山市経営政策部行政経営課総合計画係	
3. 概要	(1) 意見募集期間	令和2年2月17日（月曜）から令和2年3月8日（日曜）まで
	(2) 周知方法	東村山市ホームページ、Facebook「たのしむらやま@東村山」、Twitter「東村山市総合計画」、市報ひがしむらやま令和2年2月1日号、意見回収箱の設置場所へのポスター掲示、東村山市第5次総合計画～わたしたちのSDGs～基本構想（案）市民説明会における周知
	(3) 回収箱の設置場所	市情報コーナー、いきいきプラザ総合窓口、ワンズタワー内地域サービス窓口、中央公民館、萩山公民館、秋津公民館、富士見公民館、廻田公民館、富士見図書館、ふるさと歴史館、市民スポーツセンター、多摩湖ふれあいセンター、恩多ふれあいセンター、栄町ふれあいセンター、久米川ふれあいセンター、青葉地域センター、秋水園ふれあいセンター、美住リサイクルショップ、社会福祉センター、子育て総合支援センター（ころころの森）
4. ご意見をお寄せいただいた人数	計10名（内訳：各施設での提出6名、直接持ち込みによる提出1名、郵送による提出0名、ファックスによる提出0名、電子メールによる提出0名、市ホームページからの提出3名）	
5. お寄せいただいた意見の数	28件	
6. お寄せいただいた意見の内容と市の考え方	別紙のとおり	

お寄せいただいたご意見の中に複数にわたる内容が記載されている場合は、項目ごとに分割するなど、整理して記載しています。

また、明らかな誤字・脱字等の修正を除き、可能な限り原文のまま掲載しています。

東村山市第5次総合計画～わたしたちのSDGs～基本構想(案)について

(別紙)

意見 番号	頁	項目	ご意見	ご意見に対する考え方
1	1頁、3頁	東村山市第5次総合計画の 枠組み	<p>「今日の延長線で明日を考える」積み上げ型の発想では、東村山市の変革が必要な諸問題を解することは困難で、将来の目標を掲げて今、何をすべきか考える「バックキャスト」の思考が必要であろうと思います。</p> <p>将来世代になりきって、将来の視点や利益を起点に考えると、現世代の視点とは別の選択肢になるはずで、つまり、将来と現在の双方の人々の幸せを考える枠組みの中では近視眼的に判断するのではなく、自分たちが将来に対する投資を行ったり、一時的に負担したりすることが将来に向けた最適解であるという判断ができるであろう。</p> <p>過去の総合計画を俯瞰して評価し、その上で仮想将来世代の立場から、これから採用すべき施策案をデザインする。</p>	<p>市でもご意見のとおりと考えています。第5次総合計画は、当市が人口減少傾向へ転じて初めて策定する総合計画であり、人口推計をはじめ、将来の変化を予測し、バックキャストの思考で長期的な展望を踏まえて策定しています。具体的な施策は、基本構想を踏まえ、基本計画や実施計画で検討していきます。</p>
2	6頁	これまでの東村山のまちづくり	<p>高架化に伴うインフラ整備を1日も早く進めるべき。遅くなればなるほど困難になる。</p>	<p>連続立体交差事業に伴うインフラ整備は、まちのにぎわいや活力を創出する重要な取組と認識しています。具体的な整備の進め方については、基本構想を踏まえ、基本計画や実施計画で検討していきます。</p>
3	6頁	東村山市を取り巻く状況	<p>「近年では、都市基盤整備に重点を置き計画道路の整備を進めている」とされていますが、どのようにSDGsと関連づけられているのか、案からは読み取れませんでした。少子高齢化、厳しい行財政を鑑みれば、持続可能な都市計画に再生することが必要ではないでしょうか。</p>	<p>いただいたご意見の該当箇所は、これまで市が進めてきたまちづくりについて記載しています。</p> <p>今後については、序第4章(1)「まち」の課題の「変化を見据えた都市のマネジメントと、にぎわいのある都市空間の形成」で記載しており、持続可能なまちづくりを進めるための課題を整理しています。</p> <p>SDGsとの関連については、基本構想第2章基本目標に記載しており、この基本構想を踏まえ、基本計画や実施計画で具体的な施策を検討していきます。</p>
4	8頁	東村山市を取り巻く状況	<p>災害の少ない武蔵野台地と書かれていますが、気候変動を考えるととてもそうとは言い切れません。あらたな災害に対して対策が必要です。市民は不安を感じています。</p>	<p>いただいたご意見の該当箇所は、市の現況を記載した部分であり、東村山市が、高台で地盤が固く自然災害に強いと言われる武蔵野台地に位置する地理的な特徴を説明しています。</p> <p>ご指摘いただいた気候変動等を踏まえた新たな災害の懸念については、序第3章⑤や、序第4章(3)「くらし」の課題の「良質な生活環境の確保」及び「安全・安心なまちづくり」に記載しています。また、その対応としては、基本構想第1章「まちづくりの考え方」(1)で「市民の命を最優先に施策を展開します」と定めており、基本目標に掲げる「災害や犯罪への不安がなく安心して暮らしている」を達成するため取り組んでいきたいと考えています。</p>

意見番号	頁	項目	ご意見	ご意見に対する考え方
5	8頁	東村山市を取り巻く状況	<p>公民連携で、市民サービスを民間に移管するよりも市民との連携をもっとはかるべきではないでしょうか。民間は営利追及が至上命令です。儲からなくてもやらなければならない事が市にはあるはずですよ。</p>	<p>公民連携を含む協働は、それ自体を目的とするものではなく、東村山市のまちづくりを進めるうえで、取組の効果や効率を高めることが主な目的と考えています。</p> <p>基本構想においては、第1章「まちづくりの考え方」(4)「多様な主体が共に力を発揮してまちの魅力を高めます」に記載しているように、今後のまちづくりは、多様な主体による新しい発想と創意工夫のもと、共に力を発揮しながら進めていきたいと考えています。</p>
6	9頁	東村山市を取り巻く状況	<p>緩やかな景気回復基調はどうでしょうか。高齢者ひとり世帯が増え、商店街は衰退し、農業では後継者不足で農地も減ってきています。本当に景気が良ければ、行財政も緩やかに改善するはずではないでしょうか。</p>	<p>いただいたご意見の該当箇所は、市の課題を導くために社会経済の動向を記載したもので、基本構想(案)作成の基礎となる調査を実施した令和元年(2019年)12月時点における政府の景気判断に基づき記載しています。</p> <p>基本構想においては、第1章「まちづくりの考え方」を時代が変化する中において大切にしている価値観や考え方として定めており、(2)「時代の変化に柔軟に対応した持続可能な都市経営を進めます」としておりますように、今後もそのときどきの状況を踏まえながらまちづくりを進めていきます。</p>
7	9頁	東村山市を取り巻く状況	<p>ジェンダー平等が入る共生社会に触れているのは評価します。ただ、市の管理職の方を拝見すると女性が少なくジェンダー平等にはまだ課題があると感じます。具体的な数値目標があるとよいです。</p>	<p>いただいたご意見の該当箇所は、市の課題を導くために社会経済の動向を記載したものです。具体的な取組については、基本構想を踏まえ、基本計画や個別計画で検討していきます。</p>
8	12頁	東村山市の将来予測	<p>公共施設の維持にお金がかかるという記述があり、確かに指摘の通りではありますが、お金がかかるのは公共施設だけではなく市道の管理にも言えるはずですよ。</p>	<p>いただいたご意見の該当箇所は、将来の変化を見据えたまちづくりを進めるために、当市の将来予測の一例として挙げたものです。</p> <p>道路などを含めた公共施設全般については、序第4章(1)「変化を見据えた都市のマネジメントと、にぎわいのある都市空間の形成」や(4)「持続可能な行財政運営の基盤づくり」などで記載しており、これからのまちづくりの課題と認識しています。</p>

意見番号	頁	項目	ご意見	ご意見に対する考え方
9	14頁	これからのまちづくりの課題	人口が減少するのに都市の中心に賑わいを持たせるというイメージがわかりません。にぎわいはなくとも、貧しくても豊かな都市のあり方を考えたほうがSDGsの理念にかなうのではないのでしょうか。	<p>まちのにぎわいについては、計画策定過程で、買い物や交流などくらしを楽しめる場所を求める意見や、くらしの利便性やまちの活力を向上させるべきという意見を多く市民の皆さまからいただきました。</p> <p>SDGsでも持続可能な開発の三側面のひとつを「経済」と定めているように、人口減少社会にあっても、駅を中心とした都市機能の充実や交流の場づくりなど、魅力あるまちの拠点整備を進め、にぎわいのある都市空間を形成することは定住人口の確保につながり、持続可能なまちを目指すうえで重要であると考えています。</p>
10	15頁	これからのまちづくりの課題	市民活動を発展させることは重要であると思います。学びの成果を地域で生かすと記述がありますが学びとは本来自由なものです。市民が様々な趣味や交流を通じて得られるものの価値を成果として測ることに違和感があります。	<p>市民の学びや活動については、序第4章（2）「ひと」の課題に「多くの市民が多様な学習や、スポーツ・文化活動に取り組み、それが健康づくりや交流の促進、社会参加や居場所づくりへつながっていくことが重要です」と記載しているように、市民が自由に学び、活動すること、そしてその結果が様々につながるということが重要と認識しており、ご意見と同様です。</p> <p>また、「その成果を地域で活かすことのできる環境づくりが求められます。」という記載は、学びや活動の成果を測るものではなく、一人ひとりの市民の学びや活動が、他の市民の学びや活動などへ波及し、さらなる学びや活動、地域の活性化へつながる環境づくりについて示したもので、市民の学びや活動が自由に行われるべきという点ではご意見と同様に考えています。</p>
11	15頁	これからのまちづくりの課題	支え合う福祉も福祉の一面ではありますが、支え合えない部分はきちんと行政で福祉政策として、具体的な計画・対策をもって頂きたいです。	<p>いただいたご意見のとおり、市民と行政は、それぞれできること、力を発揮できる範囲が異なるため、市は今後も行政として適切な福祉施策を進めていきます。具体的な施策については、基本構想を踏まえ、基本計画や個別計画で検討していきます。</p>
12	16頁	これからのまちづくりの課題	温暖化はとても気になる点です。温暖化に対して企業への規制をかけ、過剰な資源を使わない、無駄なエネルギーを使わない社会について言及があるとよいです。	<p>地球温暖化などの地球環境問題への対応は、序第4章（3）「くらし」の課題の「良質な生活環境の確保」で記載しており、地球環境にやさしい持続可能なライフスタイルへの転換や天然資源の消費量削減、資源循環の取組推進が課題であるとの認識を示しています。具体的な施策については、基本構想を踏まえ、基本計画や個別計画で検討していきます。</p>

意見番号	頁	項目	ご意見	ご意見に対する考え方
13	18頁	まちづくりの考え方	市民の人権を尊重し、命を最優先にするという目標は素晴らしいです。とても良い考えです。	「まちづくりの考え方」は、今後のまちづくりの全ての施策にわたって大切にす価値観や基本となる考え方です。今後もこの考え方に基づき基本計画や実施計画を検討していきます。
14	18頁	まちづくりの考え方	全ての個別計画に、 ・規則や公平性に縛られず、どんな人であっても、命を守ることを最重点の目的とし、そのための施策を重点にしてほしい。そのため、災害、経済的破綻、公衆衛生上の緊急事態、であっても、属性により不利益を被らない行動指針を各施策の検証項目に追加して欲しい。	市民の命を守ることについては、基本構想第1章「まちづくりの考え方」(1)において「市民の命を最優先に施策を展開します」と定めています。これは、今後のまちづくりの全ての施策にわたって大切にす価値観や基本となる考え方であり、この考え方に基づき各施策を検討していきます。
15	19頁	まちづくりの考え方	市では、公民連携事業などの取り組みが進んでいる一方で、市民の自主的なボランティアや協働事業なども進んでいると感じています。しかし、それらの担い手不足は深刻です。これまで自主的で無償で行ってきた市民活動が事業化できる仕組みが出来れば、担い手不足解消と働き方改革の両方を改善する可能性があると考えます。そのために、公共施設や公共事業における収益を可能にする仕組みや支援を行うための条例改正や柔軟な運用を視野に入れた個別計画にして欲しい。	基本構想第1章「まちづくりの考え方」(4)「多様な主体が共に力を発揮してまちの魅力を高めます」に定めているように、今後のまちづくりは、市民協働を含め、多様な主体が新しい発想や創意工夫のもと、共に力を発揮することが重要と考えています。具体的な施策については、基本構想を踏まえ、基本計画や個別計画で検討していきます。
16	21頁	基本目標	分散型エネルギーの推進、情報インフラの整備、交通の利便性、様々な困難を抱えている市民への対応などを平常時からすすめることが、災害時の強靭さにつながります。すべての個別計画に於いて、各施策がすすめば、どういった減災効果を生むのか、という視点で検証し、分野を横断した柔軟な予算が組めるような仕組みを作ってほしい。	災害への対応については、基本構想第2章「将来の姿」(2)基本目標3「くらしの質の向上」において「災害や犯罪への不安がなく安心して暮らしている」と定めています。具体的な施策については、基本構想を踏まえ、基本計画や個別計画で検討していきます。

意見番号	頁	項目	ご意見	ご意見に対する考え方
17	21頁	基本目標	<p>都市基盤の整備は絶対に欠かすことはできません。一方で私の住む地域には畑があり、里山の風景が色濃く残る地域です。この地域特性をどのように活かすか、開発されていないという事は不便な面もあり、必要な都市計画道路もあります。ただ、今の風景を変えることなく子ども達に残していくことは、東村山の誇りになると思います。すべての都市計画を実現するのではなく、少子高齢化に見合った計画に変更していくことも必要です。北山公園や正福寺は市民から愛されています。この田舎っばい東村山の風景を未来に引き継げるような総合計画となることを期待しています。長文で失礼いたしました。どうぞよろしくお願い致します。</p>	<p>基本構想第1章「まちづくりの考え方」(3)「東村山の自然や文化、歴史、伝統を守り、活かします」に記載しているように、特色ある自然を尊重し、それを強みにまちづくりを進めてることとしています。また、基本構想第2章「将来の姿」(1)「将来都市像」では、都市と自然の調和した豊かなくらしは東村山市の最大の魅力であり、それを未来へ継承していくことを記載しており、都市と自然の調和という視点に留意し、施策を検討していきたいと考えています。</p>
18		全般	<p>基本構想だけを聞いていると理想的なイメージがありますが、具体的な要望は、基本計画をみて意見を出したいと思っています。</p>	<p>基本構想は、10年後の令和12(2030)年度に東村山市が実現を目指す将来の姿、まちづくりを進めるにあたり大切にすべき大きな価値観や考え方を定めるものであるため、表現が抽象的になっていることをご理解ください。具体的な内容については、基本構想を踏まえ、基本計画や実施計画で検討していきます。</p>
19		全般	<p>市民の個別課題の点検、検証がどの程度されているのか、基本構想だけでは伺い知れないと感じる。ビジョンは不可欠だが、とりわけ環境、貧困と格差、ジェンダー、子どもの権利などカテゴリーでわけることのできない課題の具体性に今後も注視していきたい。ありがとうございました。</p>	<p>環境、貧困と格差、ジェンダー、子どもの権利については、それぞれ序第4章「これからのまちづくりの課題」で触れておりますように、いずれも重要な課題と認識しています。具体的な取組については、基本構想を踏まえ、基本計画や実施計画で検討していきます。</p>

意見番号	頁	項目	ご意見	ご意見に対する考え方
20		全般	<p>計画はすっきりまとまっていて読みやすかったです。人口が減っているとは普段あまり感じなかったのですが、具体的に書かれていて、びっくりしました。最近、大きな道路工事が多いと特に感じています。街と街を分断しますし、まちづくりを壊すことにもなるので、最低限にして、その分予算を子育て支援をもっと振り分けて、若い世代を増やすように考えた方が良く感じます。</p> <p>また、環境を考えても、新しい道路は環境破壊につながるのを控えてほしいです。整備より人を大事にした計画を期待します。また、みどりを強調されていますが、畑や林が次々と宅地化されていて悲しいです。個人所有のものはなかなか難しい部分もありますが、みどりを計画的に残せるよう頑張ってください。また、全生園の緑が今後どうなるか心配です。ぜひ、保全できるよう、引き続き国に働きかけて頂きたいと思います。より良い東村山市になるよう、総合計画がさらに充実したものになるよう願っています。</p>	<p>ご意見のとおり、人口減少社会において次世代を担う若者を増やすため、子育て支援の取組は重要であると認識しています。市では、これまで道路などの都市基盤整備に取り組んできましたが、安全で生活に便利なまちをつくることは、まちの価値を向上させ、若い世代を増やすことにもつながる今後も重要な取組と考えています。</p> <p>また、市のみどりの保全については、基本構想第1章「まちづくりの考え方」(3)「東村山の自然や文化、歴史、伝統を守り、活かします」に記載しているように、特色ある自然を尊重し、それを強みにまちづくりを進めていくこととしており、都市と自然の調和という視点に留意し施策を検討していきたいと考えています。</p>
21		全般	<p>国連のSDGsは単なる目標ではなく、具体的な行動計画に落とし込むことを求めている。総合計画の基本構想を「わたしたちのSDGs」とするからには、市で作成する各分野別の計画に於いても、SDGsのどの項目をどの計画に於いて具体化するのか、達成目標の具体的な内容を明記する必要があると考えます。また、個別の計画では達成できない目標、複数の計画で連携することでより達成しやすくなるものやコストが抑えられるものについては、分野横断的な施策が行えるような仕組みを盛り込んで欲しい。</p>	<p>基本構想は、10年後の令和12(2030)年度に東村山市が実現を目指す将来の姿、まちづくりを進めるにあたり大切にしたい大きな価値観や考え方を定めるものであるため、表現が抽象的になっていることをご理解ください。基本構想第2章「将来の姿」(2)「基本目標」でそれぞれ対応する主なSDGsを記載しております。この基本構想を踏まえ、基本計画で施策を記載する際には、より具体的な取組やSDGsの対応について示していきたいと考えています。</p>
22		全般	<p>全体に関して、パブコメはどのような形で内容に反映されるのでしょうか。</p>	<p>パブリックコメント制度では、いただいたご意見に対する市の考え方を回答します。ご意見を踏まえて計画内容を修正する場合には、その回答の中で、修正の考え方や修正内容をお示しします。</p>
23		全般	<p>SDGsが全面に来ているのはとても素晴らしいです。だれひとり取り残されないまちを目指して頑張ってください。</p>	<p>東村山市のまちづくりはSDGsの理念と重なるものであり、持続可能なまちを目指してまちづくりを進めていきます。SDGsに関する具体的な取組については、基本構想を踏まえ、基本計画や実施計画で検討していきます。</p>

意見番号	頁	項目	ご意見	ご意見に対する考え方
24		全般	<p>少子高齢化はどこの市町村も同じだと思います。特に福祉について危機感を感じている事があります。それは、障害者も高齢化してくる事です。現在は、視覚障害者が介護保険の年齢に達してきて、対応できるヘルパーが少ないです。介護士を育成できる学校を運営している企業等と呼ばひ、ヘルパーやガイドの育成に力を入れて欲しいと思っています。</p>	<p>いただいたご意見は、今後基本計画や実施計画で具体的な施策を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
25		全般	<p>恩多町1丁目都道新設沿道の住民です。(大岱公園近し)交通の便はよくなるが、どんどん緑・畑・木がなくなり、また老人、幼児の安全がおびやかされています。近くの保育園も園庭がないなど…。沿道に公園、文化施設(郷土館、コミュニティ)などできればと思います。市の鳥や植物を次世代へつなげたり、ためきのいる町であってほしいです。出水川の雑草刈などして頂いてありがたいです。</p>	<p>いただいたご意見は、今後基本計画や実施計画で具体的な施策を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
26		全般	<p>「高齢者と若い世代が一緒に取り組む子育ての町！日本一」 【目的】市民全体が大きな目標をもって取り組み、少子高齢化時代の課題解決に向けて、「若い子育て世代がやりがいのある仕事や社会貢献活動をしながらか住みたい町」「高齢者が社会的コストから地域社会を支える町」を目指して、住んでよかった東村山！住みたい町東村山の未来を築く。 【成果】少子高齢化時代の生き残り戦略として、高齢者が食や農、エネルギー、教育、子育てなど、地域の安定に寄与する分野での貢献を促す仕組みが生まれ、子育て世代のママが地域で活躍でき、親も子どもみんなが育つ持続発展地域へ導く。 【進め方】子育て日本一を軸にした第5次総合計画の推進！</p>	<p>いただいたご意見は、今後基本計画や実施計画で具体的な施策を検討する際の参考とさせていただきます。</p>

意見 番号	頁	項目	ご意見	ご意見に対する考え方
27		全般	<p>東村山人権の森会議世界大会開催拠点創設構想</p> <p>【目的】全生園の「人権の森」構想推進に向けて、日本国内だけでなく世界の人権問題を取り扱う拠点として、世界人権フォーラム・東村山世界人権会議（東村山会議）を創設</p> <p>【成果】東村山市が中心となって進めている全生園跡地の人権の森構想実現への大きな手段となり、未来の東村山が世界的に大きな存在価値を高めることができる。</p> <p>【進め方】世界経済フォーラムは、スイス・ジュネーブに本拠を置く非営利団体が開催しており、スイス東部の保養地ダボスで行われているダボス会議（ダボス会議）にならない、世界人権フォーラム版として進める。</p>	<p>いただいたご意見は、今後基本計画や実施計画で具体的な施策を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
28		全般	<p>東村山市民大会議の創設</p> <p>【目的】東村山市民が地域全体に関心を持ち、人生100年時代を生きる知恵を共有する。</p> <p>【成果】東村山市に意識のある市民が自らの意見を発表し、そして多くの意見や考え方を全市民が知る機会を得ることによって、東村山をホームタウンとして、「思いのある誰もが動き出し、新しい生き方を生み出せる」地域が創造できる。</p> <p>【進め方】</p> <p>主催：東村山市民大会議実行委員会（官民から募集）</p> <p>会場：東村山市中央公民館大ホール</p> <p>参加資格：東村山市民、東村山を勤務地とする人</p> <p>開催回数：2回/年</p> <p>募集人員：中央公民館収容可能員数</p> <p>その他：報酬なし、交通費自己負担</p>	<p>いただいたご意見は、今後基本計画や実施計画で具体的な施策を検討する際の参考とさせていただきます。</p>